

別表 「いじめの未然防止、早期発見、早期対応に関する取り組み」

1. 学校全体としての取り組み

		児童にかかわること	保護者との連携・依頼	
いじめの未然防止		<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通じた人権尊重教育の充実 ○道徳の時間の指導の充実による正しい判断力の育成 ○コミュニケーション能力の育成による、よりよい学級学校での人間関係づくりの推進 ○安心してできる学校、学級づくりと豊かな体験活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○何でも話せる親子関係の構築 ○友達のよいところを見つける目 ○家庭、学校、社会のルールの尊重と携帯電話、インターネット、ゲーム等の情報機器の使用の約束づくり ○保護者同士のよりよい人間関係づくり 	
いじめの早期発見		<ul style="list-style-type: none"> ○集団から離れている児童への声かけ ○日々の友達関係の悩みを担任に相談する学級づくり ○いじめアンケート、個別面談での情報提供 ○児童の作品や持ち物等へのいたずらの早期発見対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○持ち物、服装の汚れや破損、紛失、ケガのチェック ○日常的な子供との会話の中で気になることに気づく目 ○学校の話をしたがらなくなる子供への対応と学校へ行きながらなくなる子供への対応等 学校への情報提供 	
いじめの早期対応	暴力を伴ういじめ	被害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○本人や周囲からの聞き取りによる身体的、精神的な被害状況の把握とSC等による適切な初期対応 ○被害を継続させない全教師による体制づくりの確認 ○いじめの原因や背景の調査、改善による根本的解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子を守る姿勢を第一に、子供の不安な思いや苦しい気持ちに寄り添い、事実や心情を聞き取っていく ○いじめの問題解決に向けた学校の方針、取り組みへの理解を求め協力してもらう
		加害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○やったことの実事確認と「いじめは絶対いけない」という強い指導に基づく反省と謝罪 ○いじめの原因や背景の調査、改善による根本的解決 ○関係機関（警察、児童相談センター等）との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、いじめられた子供を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える ○事実を冷静に受け止め、わが子の言い分を聞く ○被害児童への誠意ある謝罪等の対応をすることを伝える
	暴力を伴わないいじめ	被害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○本人や周囲からの聞き取りによる身体的、精神的な被害状況の把握とSC等による適切な初期対応 ○被害を継続させない全教師による体制づくりの確認 ○いじめの原因や背景の調査、改善による根本的解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子を守る姿勢を第一に、子供の不安な思いや苦しい気持ちに寄り添い、事実や心情を聞き取っていく ○いじめの問題解決に向けた学校の方針、取り組みへの理解を求め協力してもらう
		加害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○やったことの実事確認と「いじめは絶対いけない」という強い指導に基づく反省と謝罪 ○いじめの原因や背景の調査、改善による根本的解決 ○関係機関（警察、児童相談センター等）との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、いじめられた子供を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える。 ○事実を冷静に受け止め、わが子の言い分を聞く ○被害児童への誠意ある謝罪等の対応をすることを伝える
	行為が明確でないいじめ	被害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○本人の心情を聞き取り、学校は「いじめから全力で守っていく」ことを約束する ○被害を継続させない全教師による体制づくりの確認 ○いじめの原因や背景の調査、改善による根本的解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○わが子を守る姿勢を第一に、子供の不安な思いや苦しい気持ちに寄り添い、事実や心情を聞き取っていく ○いじめの問題解決に向けた学校の方針、取り組みへの理解を求め協力してもらう
		加害児童	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめは絶対に許されない」毅然とした指導で、関係する児童に事実確認を行う ○いじめの理由や背景を把握し、根本的な解決を図る ○SCや全教員による継続したいじめ防止体制を築く 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校は、いじめられた子供を守ることを第一に考えた対応をとることを伝える ○事実を冷静に受け止め、わが子の言い分を聞く ○事実確認後、被害児童への謝罪等の対応を伝える
直接関係がない児童への対応		<ul style="list-style-type: none"> ○いじめを傍観していることは、いじめをしていることと同じであることを強く指導する ○友達に流されず、正しい判断をして、自分の意思で正しい行動ができることの大切さを指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の子供がかかわっていないくとも、いじめにかかわる情報があった場合は、学校に連絡する ○どんな場合でも、いじめる側や傍観者にならない強い意思を育てていく 	

2. 家庭や地域との連携

① 各家庭での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の子供に関心を持ち、子供のストレスや不安に早期に気づくことのできる親であること ○よいこと、悪いことに正面から対応し、毅然とした態度で接する親であること ○子供と日常的、積極的に会話をし、今の悩みや将来の夢を素直に話し合える親であること ○自分がされたくないことは、人にもしないという、相手の立場を大切にすることをしっかり教える親であること
② 地域での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域の中で子供は育つ」ことを再確認し、町会や各種関係団体と連携し地域の教育力を高めていく ○子供たちへの積極的なあいさつ、声かけの励行 ○地域行事への子供たちの積極的参加を保護者にも呼びかける ○気になる子供の言動を、すぐに学校に情報提供できる体制を醸成する